

「感情高め、より良い人間関係をつくる」

フロントランナー

Front Runner

(1面から続く)

加藤 忠相さん 「あおいけあ」社長

「いつも「当たり前」のことをやっているだけ」と言っています。

「自分がされてイヤなことば、じいちゃん、ばあちゃんにもしない」ということが基本です。でも他人に伝える時、それだけでは足りないのです。データで補強するようにしています。

その一つが、静岡大学の竹林洋一・特任教授との共同研究です。動画でスタッフの動きを記録し、分析しました。入浴の好事例は、日常会話から始め、徐々にお風呂の提案にもついで、出た後は「楽しかったね」と確認する。入浴は「目的」ではなく、「より良い人間関係をつくるための手段」なんです。

利用者一人ひとりの「強み」を引き出すのが特徴だとか。

お年寄りは長い人生を生きてきて、仕事や趣味、家事など、それぞれの強みを

持っています。元植木職人の男性なら、施設内の庭木の剪定をしてもらい、宮城・気仙沼出身の女性ならホヤをさばいてもらいます。

アルツハイマー病になると、直近の記憶はなくなり、すが、むかし体で覚えたことは失われません。スタッフたちは、自宅に行つて昔のアルバムを見たり、会話を重ねたりしながら、強みになるヒントをいつも探しています。それが施設全体で楽しめるイベントにつながることもあります。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

恋も回復の力に

「うまくいった事例を教えてください。」

施設の一つ「いどばた」にトヨさんという80代のおばあちゃんがあります。最初は引込み思案で、歩けなかった。でもスタッフがつまみさんに、得意の白菜漬を仕込んでもらったり、歌

に合わせて打楽器をたたいてもらったりしたところ、徐々にみんなに溶け込むようになりまして。

またトヨさんが、利用者の男性に恋していることを察知すると、「彼に元気な姿をみせようよ」とリハビリに励んでもらい、歩けるように導きました。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

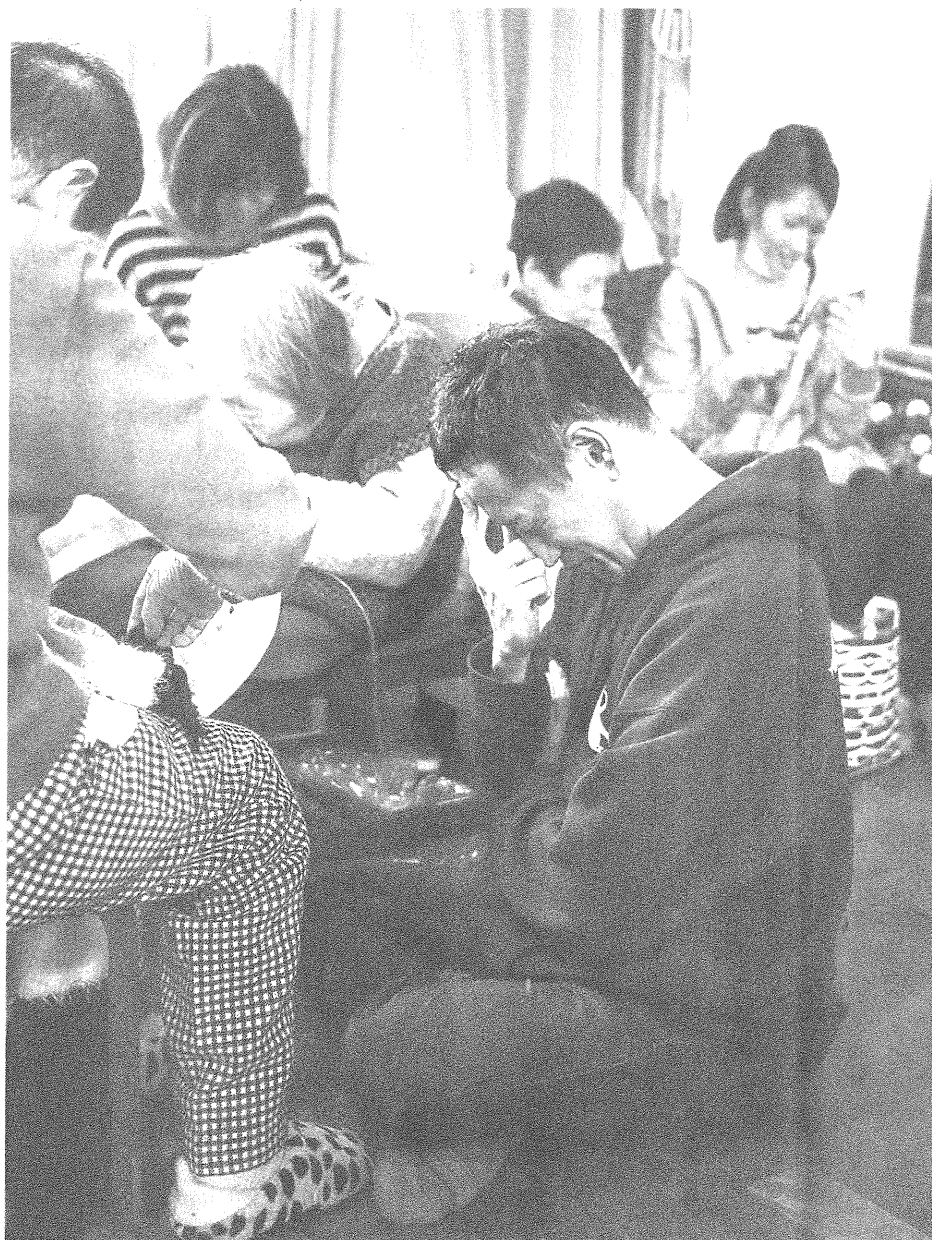
「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

イラストで記録

「スタッフが対応に行き詰まることもあるはず。ケアの仕方でも悩んだ時は、四つの施設それぞれに経験を積んだスタッフがいます。例えば「本人や家族に話を聞いたけど、なかなか良い関係をつくれないう」というケースなら、近所の人や遠方の家族に話を聞くことを助言します。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフがうまくおだててみます。「○○さん、お願いしますよー」と頼る感じで言うと、「しょうがねえなあ」とやってくることも多いです。頼られると悪い気はせず、良い感情が残ります。

「強み」が見つからない利用者もいるのでは？ いますね。特に男性で営業系の仕事をしてきたり、趣味がなかったりするケースです。それでも感情や居心地を高め、「より良い人間関係」をつくってほしいんです。相手が男性なら、女性スタッフ



手芸をするおばあちゃんに話しかけ、予想外の返答に苦笑。利用者たちからは「社長」「忠相さん」と呼ばれ、慕われている＝神奈川県藤沢市の「いどばた」

プロフィール

- ★1974年、神奈川県生まれ。
- ★特別養護老人ホームで勤務していた時、同僚だったのが妻の律子さん。現在、株式会社「あおいけあ」の取締役兼ケアマネジャー。写真は律子さんとデート中の24歳ごろ。
- ★あおいけあには、認知症グループホーム「結」のほか、通い、訪問、宿泊を一体的に提供する小規模多機能型居宅介護事業所「おたがいさん」、系列の「いどばた」「おとなりさん」がある。地域と施設に食事を提供するレストラン「菜根や」とカフェ「亀井野珈琲」も入る。
- ★映画「ケアニン」は昨年6月に劇場公開。10月以降は各地で自主上映会が開かれている。
- ★息抜きはゲームや漫画。趣味はバリトンサックス。高校では吹奏楽部の部長を務めた。
- ★家族は小学生から高校生までの子ども3人と両親も合わせ、計7人と愛犬1匹。

◆今回は、ビンテージデニムの再現に取り組み、世界20カ国超へ輸出もして人気を集めているジーンズメーカー「フルカウント」の社長、辻田幹晴さんの予定です。

うちには、スタッフがイラストつきで利用者の様子や特徴を記録するノートもあって、それを見ればケアの参考になります。

「スタッフと意見が違ふこともあるでしょう。僕が反対することはほとんどないですね。」「リスクがあるから何もしないのではなく、リスクを下げつつ本人の希望をかなえる」という考え方を、スタッフと共有しているからです。スタッフには常々、「加藤に聞いて『いいよ』と言いたいなら、実行に移しなさい」と言っています。

「余命2週間」と言われた膵臓がんの男性の「温泉に行きたい」という希望をスタッフがかなえた時も、何も言いませんでした。家族との信頼関係が十分にできていたからです。

「利用者の多い大規模施設だと、あおいけあのようにできないのでは？」

できない理由を探しているだけです。例えば食事の際に、ごはんのみそ汁の準備だけは利用者にやってもらうとか、できることから始めればよい。「時間に制約がある」という声もありますが、報告書や企画書を書く時間を、スタッフが利用者に向き合う時間に変えればよいのです。トップの考え方が変われば、現場は変わるはず。マニュアルでスタッフや利用者を縛ってはいけません。

最近では、京都府や奈良県などで「あおいけあを目指す」という介護施設が少しずつ出てきています。映画「ケアニン」を見た介護関係者からも、同様の声が聞かれ、うれしいです。もちろんうちのやり方だけが、正しいわけではありませぬ。利用者本位の、それぞれの施設のやり方を見つけていってほしいです。